

1. 研究課題名 麻薬使用に関する知識向上とインシデント低減の取り組み	
2. 主任研究者	緩和ケアチーム・薬剤科 / 科長 / 関塚 大
3. 分担研究者 田辺 義明(外科) 中西 英世(緩和ケア内科) 戸部 有紀子(精神科) 榎本 史子(看護部)	
4. 研究等の概要・目的 地域がん診療拠点病院に指定され、がん性疼痛の管理に力を入れてきた。その結果、麻薬の使用量も増加し、取り扱う種類も多様化している。 様々な麻薬を活用し疼痛管理を行ってきたが、一方で、麻薬関連のインシデントも発生している。 麻薬の過剰投与は患者の生命を脅かす重大な問題であり、逆に投与量が不足すれば、疼痛管理が不十分となり、患者の QOL(生活の質)を著しく低下させるリスクがある。 看護師が必要な知識を身につけることで、適切な薬剤管理ができるようになることを目指し、勉強会を開催した。 勉強会実施前後でのインシデントの状況を調査し、今後の緩和ケアチームの活動方法を検討する。	
5. 研究等の対象及び実施場所 2019 年 10 月 31 日～2024 年 10 月 31 日の期間、麻薬に関するインシデントについて以下の記載について調査する ① インシデントの分類 ② インシデントの内容 ③ 対策 ④ 日時 ⑤ 部署 ⑥ 誤った医療の実施影響 ⑦ 職種 ⑧ 経験年数 ⑨ 配属年数 ⑩ 患者年齢(年代) ⑪ 性別 ⑫ 主科 ⑬ 病名	
6. 研究等における医学倫理的配慮について(Ⅰ～Ⅲは必ず記載のこと) Ⅰ 研究等の対象となる個人の権利擁護 研究の倫理的配慮 調査結果は、個人が特定できないように患者様のプライバシーを厳守し、個人が特定できる情報は記述しない。 Ⅱ 研究等の対象となる者に理解を求め同意を得る方法 ホームページにて公開し、研究に参加したくない(自分のデータを使ってほしくない)方は連絡していただく。 Ⅲ 研究等によって生ずる個人への不利益及び危険性並びに医学上の貢献の予測 本研究は後方視的調査であり、個人への不利益及び危険性はないと考える。	